

# コンパクトなボディに “最大のスケール”を秘めた 仮想アースの最高峰が誕生

**Profile:** 総販売台数13000台を達成した光城精工の仮想アース「Crystal E」。その上位モデル「Crystal E-G」がついに登場した。世界800台の限定モデルとして発売された「Crystal E Jtune」の基本構成を踏襲しつつ、プラグ型仮想アース「Crystal Epシリーズ」に搭載された導体表面積拡大を目的とした特殊アルミ電解コンデンサを採用。従来モデルに比べて導体表面積を大幅に拡大。実に和室3.6畳以上にも及ぶ有効面積を確保した同社史上最高性能の仮想アースがここに誕生した。さらにプラグ型仮想アース「Crystal Epシリーズ」待望のUSB仕様も新登場。併せて炭山アキラ氏がその効果を体験する。

Text by  
**炭山アキラ**  
Akira Sumiyama  
Photo by 田代法生

## さらに磨かれた加工技術で 3・6畳以上の面積を実現

光城精工というクリーン電源装置と電源タップ、フィルター類の雄という印象が強かったが、近年は仮想アース装置でも独自の境地を大いに発達させている。中でも中心的な存在は「Crystal E」といってよいだろう。同社の電源ボックスと同一のシリーズ名を持つが、独立した商品である。

「遠くのアースより近くのアース」をキーワードに開発されたこの装置は、ステンレスと銅、真鍮の板を8枚重ねにすることで、内部に広大な異種金属の接触面を持ち、それが不要なアース電位を効率良く吸収してくれる。極厚のアルミとスチールによる高剛性の筐体は、それ自身も異種金属としての役割を果たすとともに不要な共振を抑え、揺るぎない音の再現に寄与している。

その「クリスタルE」の限定品として同「Jチューン」が登場したのは記憶に新しいが、あれはとてつもない効果を聴かせてくれた半面で製作に大変な資材と手間がかかるため完売となり、再生産も無理と聞く。残念に思っていたら、そこは同社のことだ。しっかりと次

の手を打ってきてくれた。「クリスタルE・G」である。

Jチューンで金属板の表面積を増大させるために用いられたサンドブラスト加工は、さらに表面積を増すファイナブラスト加工にグレードアップ。そこへ後述する「クリスタルEP」の開発で培われたエッチング処理薄膜技術が用いられたコンデンサー状の素子が内部に6基も搭載されている。このコンデンサーも特殊なエッチング処理することで導体表面積を拡大。1基あたり1万1000cm<sup>2</sup>もの広大な有効面積を生み出したという。なお、ファイナブラスト加工による8層の積層プレートの表面積は「E」に比べて60%もアップ。前述の特殊アルミ電解コンデンサー6基分と併せてた表面積はトータルで6万8000cm<sup>2</sup>。このコンパクトなボディのなかに、実に和室3・6畳以上に相当する有効面積を有しているというのだから驚きだ。

M4仕様のアース端子は「E」のステンレス製から、より安定した導通のため、金メッキの3点鍋ネジに変更。トップカバー取り付けは「Jチューン」と同様のステンレス製の中空穴付きネジを採用（EはNiメッキ仕様）。中空にする



従来モデルの「Crystal E」(¥37,840/税込)



**BEST HiFi  
Accessory**  
2023 AUTUMN

## KOJO TECHNOLOGY Crystal E-G

仮想アース 写真右ページのモデル

¥85,800(税込)

※初回限定版500台は新製品のアースケーブル「Clone1Y6」と「Clone2Y6」を各1本(各¥8,580相当)を同梱

### Specifications

●仮想アース端子:M4×2端子(スチール製金メッキ3点鍋ネジ)●内部導体表面積:68,000cm<sup>2</sup>●サイズ:80W×35H×111Dmm(端子や突起物含まず)●質量:約830g●専用アースケーブル×2本付属:RCA-Y端子(M4)の1.2m×1本(金メッキ)、Y端子(M6)-Y端子(M4)の1.2m×1本(金メッキ)●取り扱い:(株)光城精工

# 音楽自体の楽しみ方自体も変えてしまおう それほどまでの効果を発揮するアイテム

ことにより開放的な音質を狙っているという。  
さらに、つなげて使えるのは電源タップなど同社製品との共通点といってよいだろうが、本機も2台つなぐことにより2倍どころではない効果を発揮するのがまた凄いとこだ。

**一切の曇りなきスピード感と重厚さと深い再現性を実現**

本誌試聴室でまずは従来モデルの「E」を試す。プリのRCA空端子へ変換ケーブルを介して接続する。オーケストラは一気に空間感が増大し、大編成のオーケを隅々まで見渡すことができるのではないかと、というような表現に驚嘆することとなった。特に高域方向の濁りや詰まった感じが消え、ガラス窓を開け放ったような爽やかさと開放感が素晴らしい。やはり不要電位は音へ大きな悪影響を与えているのだなと実感する。ジャズはタムやスネアの切れ味が増し、シンバルがシャッキリ伸びる。ウッドベースも重く引きずる感じがなくなり、グッと生々しくなった。フュージョンはパワフルな中でにじみがなくなり、音像がクッキリと引き立つようになる。ポプスは幾重にも折り重ねられた音像を体験できた。

いの方も多いと思うので、「E・G」と「E」をつなげて聴いてみる。オーケストラは音像がさらに後方へ展開するようになり、その分音場感が遙かに広大になる。「E」の持ち味であるサラリとした伸びやかさと「E・G」の圧倒的な厚みや肉感とともにいい形で発揮されているようにも感じられる。

同一モデルを2台つなぐと同一方向で2倍どころではない違いを聴かせる同シリーズだが、別モデルをつなぐとそれぞれの持ち味が重畳して聴こえるのが面白い。ジャズもまったく同様で、どっしりとした厚み安定感と、スパッと切れ上がる軽やかさの両立が素晴らしい。フュージョンはどちらかというと明るく切れ味鋭い方向性が強く出たが、それはそもそもそういう方向性の音源だからだろう。ポプスは重低音までしっかりと伸びているが重く引きずる感じがなく、なるほど軽やかかつ重厚とはこういうことをいうのだなと思わず膝を叩いてしまうほどの効果

像をしつかりと分離し、音響の大絵巻が現出する。依然として「E」の効果は絶大だ。  
ところが「E」から「E・G」に交換するとオーケストラは音の厚みがさらに増してくるのがわかる。空間へ漂う音響成分が増しつつ、オーケの音像はどっしりとホールへ定位する。まさに離れ業しか言いようがない。リートは歌い手を豊かで艶やかに描き出し、歌手とピアノの距離差もさらに克明に描く。ジャズは目にも止まらぬスピード感に一切の曇りもないまま音像が肉付き良くなり、特にウッドベースの胴鳴りが美しく、深く響くのが好ましい。フュージョンも同様、太い線で描きつけたような素描の力強さと電光石火のバルシブさが、お互いを邪魔せず共存するのが素晴らしい。ポプスは重層的な構成がさらにもう一段奥まで見晴らせるようになった。ここまで深い再現ができる音楽自体の楽しみ方が変わってくる。それほどの効果である。

**「E・G」と「E」の組み合わせは圧倒的な重厚さと切れ味が両立**

今回の試聴では「クリスタルE・G」と「クリスタルE」が用意されている。すでに「E」をお使

果を体験できた。  
同シリーズには「クリスタルE Pシリーズ」も存在する。先ほど少し触れたが、アルミの薄膜をエッチング処理して表面積を増大させ、それを筒状に巻いたコンデンサー的な素子を使って不要電位を吸収する装置である。RCAに加えて何とスピーカ用のバナナ/Yまで各種端子へ直接挿せるため、究極の「近くのアース」といふべき存在である。このたび同シリーズにUSB・A端子用が発売されたので、早速使ってみようと思う。

**ノイズが劇的に下がり切れ味が大幅に向上**

まずディスクプレーヤーのA端子へ挿入して音を聴いた。オーケストラは冒頭ティンパニのトリルに覆い隠されそうになるメロディラインがクッキリと浮き立つ。ノ

イズフロアが劇的に下がり、解像度が上がった結果であろう。リートは声が瑞々しく爽やかで、ピアノもサラリと流れるような質感を聴かせる。ジャズは切れ味が大幅に向上、フュージョンは明るく伸びやかに切れ上がる。ポプスは重層を1枚ずつ解きほぐしてリスナーへ届けるような表現となる。2本用意されていたので、もう1本をソース側のPCへつないだら、こちらも実によく効く。まさに同傾向で2倍どころではない効果目だ。

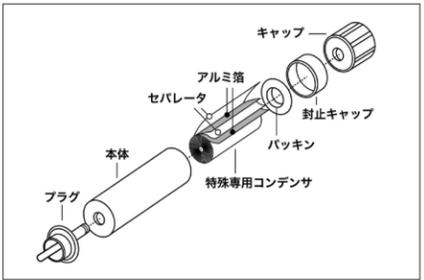


## KOJO TECHNOLOGY Crystal EpUA

USB typeAプラグ仕様 ¥28,820 (1本/税込)  
※2個セットは¥51,920 (税込)  
※初回限定500本に対し、人気のレーザークロスまたは仮想アース交換用プラグが付与される特典付き

**Specifications**

- 「Crystal Epシリーズ」は他にRCAプラグ、φ3.5ステレオミニプラグ、バナナプラグ、Yラグ(M4~M8)仕様もラインアップ(ともに¥26,400/本・税込)もラインアップ
- 内部導体:高純度アルミニウム箔
- 内部導体表面積:11,000cm<sup>2</sup>/本
- プラグ:真鍮/金メッキ
- 本体/キャップ:真鍮/Niメッキ
- サイズ:φ12×64mm
- 質量:34g/本
- 取り扱い:(株)光城精工



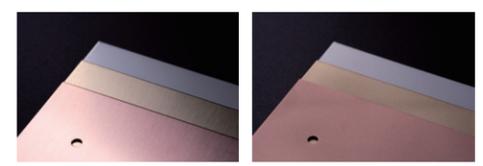
「Crystal Epシリーズ」の構造。プラグ部を外して連結や他の端子仕様との交換も可能



交換用プラグ「Ep-typeUA」(¥7,920/税込)もラインアップ



「Crystal E-G」のレイヤー構造。内部の異金属プレート構成は「Crystal E」や「Crystal E Jtune」と同様。各プレートの加工処理によって違いがあり、「Jチューン」はサンドブラスト加工、「E-G」はさらに高精度化させたファインブラスト加工を採用。面積の拡大とともに表面凹凸形状を均一にコントロールし、表面積のパラツキを低減している



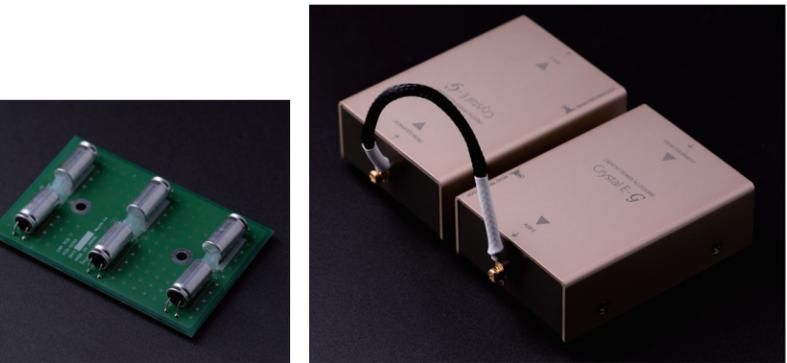
左がファインブラスト加工無し、右が有りの状態



Crystal Epシリーズで導入された特殊アルミ電解コンデンサを6基搭載。内部導体には帯状に加工された高純度アルミニウム箔を使用。導体表面を特殊エッチング処理することで、空洞が無数に形成され、導体表面積の拡大をもたらす。これにより1基あたり11,000cm<sup>2</sup>(110cm×100cm)という広大な有効面積を確保



ゴールド仕上げをまとった最新モデルの「Crystal E-G」(¥85,800/税込)。「RCA-Y端子」と「Y端子-Y端子」の2本のアースケーブル(各1.2m)が付属する



ファインブラスト加工による積層プレートと6基の特殊アルミ電解コンデンサにより、トータルで68,000cm<sup>2</sup>、和室3.6畳以上に相当する有効面積を確保した「Crystal E-G」。アース端子はオーディオ機器への接続用と、増設用の2系統を装備